

川上ダム堤体コンクリート20万^{だせつ}m³打設達成！

川上ダムでは、堤体コンクリートの総打設量が20万m³（全体の約44%）を達成しますのでお知らせ致します。

今回は3つの密（密集，密接，密閉）を避けるため工事関係者が一堂に会して実施する記念式は行いません。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から現地における取材につきましてもご遠慮下さいますようお願い申し上げます。

なお、必要な方には施工状況写真（写真1～4）を提供させていただきますので下記お問い合わせ先までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 20万m³達成日 令和2年5月22日（金）

※悪天候等により達成日が順延される場合があります。

2. 場 所 伊賀市川上地内 川上ダム ダムサイト

施工状況は、川上ダムホームページの「川上ダムLIVEカメラ」からご覧頂くことができます。

川上ダムホームページ：<https://www.water.go.jp/kansai/kawakami/>



令和 2年 5月19日

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所

発表記者クラブ

三重県政記者クラブ

第二県政記者クラブ

伊賀記者会

名張市政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所 総務課長 ほりぐち 堀口

住 所：〒518-0294 三重県伊賀市阿保^{あお}251番地

電 話：0595（52）1661

川上ダム建設事業

事業の目的

洪水調節

川上ダム地点における計画最大流量 $850\text{m}^3/\text{s}$ のうち $780\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行い下流の洪水流量を低減します。

新規利水

伊賀市の水道用水として最大 $0.358\text{m}^3/\text{s}$ ($30,919\text{m}^3/\text{日}$)の取水を可能とします。

流水の正常な機能の維持

前深瀬川及び木津川の補給等、流水の正常な機能の維持と増進を図ります。また、既設ダムの堆砂除去時の代替補給を行います。

事業の概要

事業工期: 昭和56年度～令和4年度(2022年度) 予定

ダムサイト位置

左岸 三重県伊賀市青山羽根

右岸 三重県伊賀市阿保

形式 重力式コンクリートダム

堤高 84m(堤頂 EL. 282.0m)

堤体積 約 $45\text{万}\text{m}^3$

集水面積 約 54.7km^2

湛水面積 約 1.04km^2

総貯水容量 約 $31,000,000\text{m}^3$

有効貯水容量 約 $29,200,000\text{m}^3$



事業の経過(進捗状況)

昭和42年	予備調査に着手(建設省)	平成29年 9月	本体建設工事を契約
昭和56年	実施計画調査開始(建設省)	平成29年 11月	付替県道青山美杉線全線供用開始
昭和57年 8月	水資源開発公団が事業を継承	平成30年 4月	仮排水路トンネル転流開始
平成 8年 12月	一般補償基準の妥結	平成30年 9月	本体建設工事 起工式
	(ダムサイト上流)	平成30年 9月	本体基礎掘削に着手
平成 9年 12月	一般補償基準の妥結	平成31年 3月	本体基礎掘削を完了
	(ダムサイト下流)	令和元年 7月	減勢工コンクリート打設開始
平成16年 3月	川上ダム建設事業に伴う離村式	令和元年 9月	堤体コンクリート打設開始
平成20年 11月	付替県道松阪青山線全線供用開始	令和 2年 2月	堤体コンクリート $10\text{万}\text{m}^3$ 達成
		令和 2年 5月	堤体コンクリート $20\text{万}\text{m}^3$ 達成



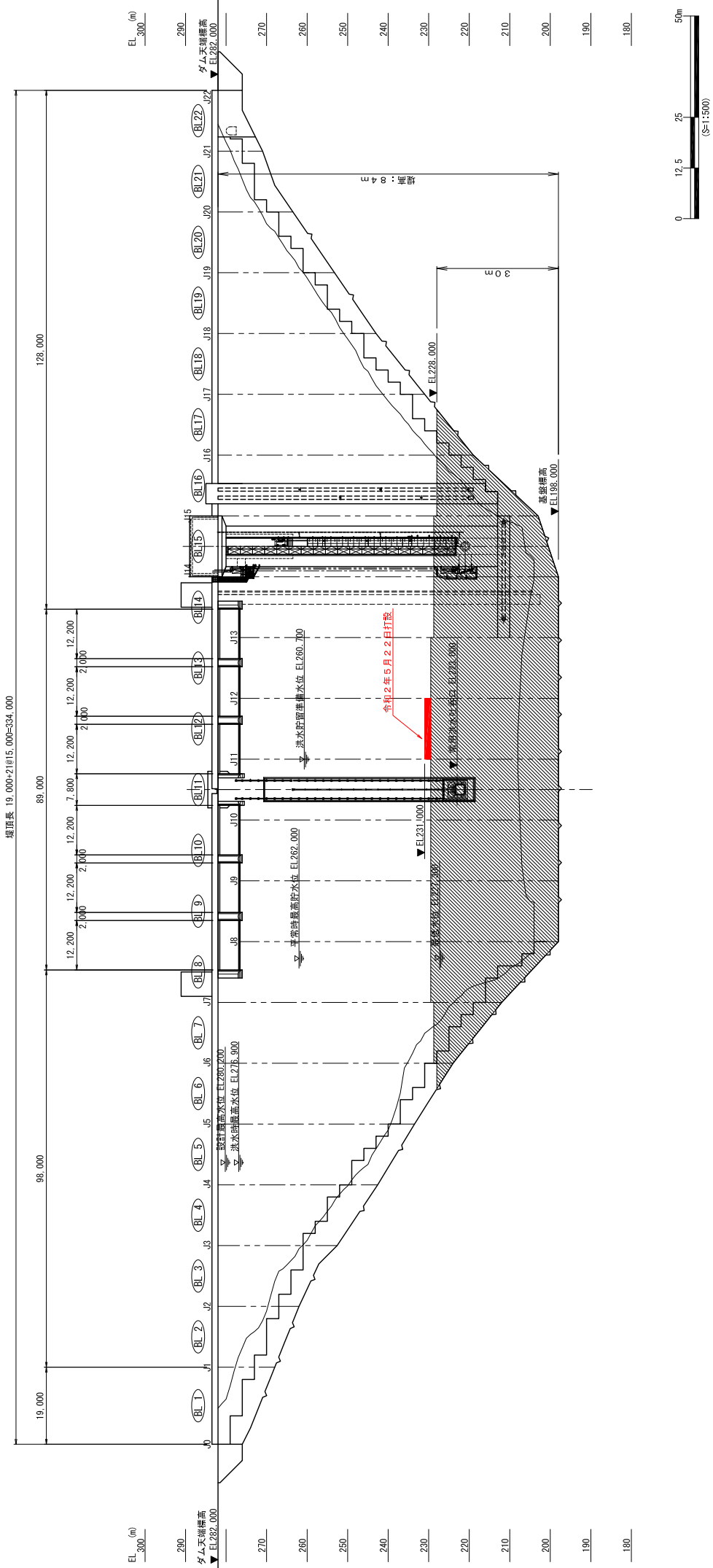
仮排水路トンネル転流開始
(平成30年4月4日)

川上ダム施工状況(令和2年5月14日撮影)

堤体コンクリート初打設(令和元年9月20日)

堤体打設予定

S=1:500



工事名	川上ダム本体建設工事
名称	堤体上流面図
登録番号	縮尺 S=1:500
整理番号	
独立行政法人 水資源機構 川上ダム建設所	

本図面は、AI判を材料に縮小したものである。

川上ダム施工状況



写真-1 川上ダムダムサイト（下流から上流を望む）



写真-2 川上ダムダムサイト（下流から上流を望む）

川上ダム施工状況



写真-3 川上ダムダムサイト（上流から下流を望む）



写真-4 川上ダムダムサイト（真上から）